

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 加藤 敏昌
幹事 青山 敏郎
会報委員長 小池 宗

No. 22

ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは 希望をもたらし

1986～87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第216回例会 昭和61年12月2日(火) 晴

- ◇ “君が代”
- ◇ “我等の生業”
- ◇ 出席報告
会員 57名 出席 40名
出席率 70.18%
前回 11月25日(修正出席率)94.74%
- ◇ ビジター紹介 8名
- ◇ お誕生日祝福
松居君(11/25)、西村夫人(12/6)、木全君(12/7)、宮尾君(12/10)、北野君(12/12)
- ◇ ニコボックス
守山RC 月田 幸雄君 たびたびお世話様になりありがとうございました。来年もよろしく願いいたします。
谷口 暢宏君 先回のゴルフ会で家内が優勝させていただきました。
松居 敬二君、木全 昭二君、宮尾 紘司君
北野 寿三郎君 誕生日祝い。
西村 禎二君 夫人誕生日祝い。
- ◇ 青山幹事報告
1. 本日例会終了後、年次総会を開催いたしますので、全会員の方はお残り下さい。
2. 次週例会は12月13日(土)年末会員家族懇親会ですので、9日(火)の例会はございません。
3. ロータリーの友12月号がきておりますので、お届りにお持ち下さい。
- ◇ 尾関親睦活動委員長報告
年末懇親会で「お楽しみプレゼント」を御寄贈いただく場合は例会場か事務所へお持ち下さい。本日例会終了後、親睦委員会を開催いたします。
- ◇ 加藤(敏)会長挨拶
世相の移り変わりと同じように、食生活の変化、治療薬の進歩により、外科的な手術の対象も変わって参りました。特に虫垂炎、胃潰瘍の手術は激減しています。外科医の最初の「トレーニング」として行なわれる虫垂炎の

手術に関しては何れお話ししますが、本日は胃潰瘍に触れてみます。先般、胃潰瘍のお話を致しましたが、胃潰瘍もこれに近い分類がなされています。最近、抗潰瘍剤の非常に優れたものが出て参りましたので、この組み合わせをうまく使い、加えて日常生活の指導を行なう事によってスライドで示すような巨大潰瘍も非手術的に治癒します。しかしながら、大部分の方は三年以内に程んど再発して参りますが、これは「喉元過ぎれば熱さ忘る。」という事だと思っています。私が現在行っている胃潰瘍の手術対象は陳旧性且つ抗潰瘍剤に強く抵抗するごく一部の症例か、又は潰瘍が穿孔を起した場合の緊急手術に限られています。

◇ 講演

“日本の国際化とイタリアの国際化”
国際センター 特別職員
アンジェラ・ボナベ さん

(紹介 深見君)



私が来日してから1年半になります。それ以前にはイタリアのナポリで4年間、日本研究をしていました。現在は名古屋国際センターで国際情報を広める仕事をしています。来日した当初には、大きなカルチャーショック(文化の違いから生ずる衝撃)を経験しまし

た。一口でいうと、日本人は聞く民族（あまり自ら表現をしない）で、イタリア人は話す民族（あまり他人の話の聞こえをしない）であるというのが当時の印象でした。現在でも日本人は直接に外国人に対して率直な意見を述べない傾向がありますが、私にとっていろいろ日本について知らないことを教えていただきたいのに、直接に私に対して、はっきりと言ってもらえないのは、つらいことです。日本人は燈台のように、もっと自らの光を他の人達にあてて照らしていただきたいと思えます。日本人はまた自分達が特別の存在であるかのように思いすぎると私には感じられます。外国人も日本人もむしろ共通の同じ部分の方がはるかに多いのですから、同じ人間として接していただきたいのです。日本は今、世界で第2位の経済大国に、客観的にはなっているにもかかわらず、多くの日本人は主観的に自分達のことをよく認識しているとは思えません。一口に「国際化」といっても、モノの交流（日本からの輸出）だけではなくて、ヒトの心の交流こそが本当に必要なのではないのでしょうか。日本にも古くから「慈愛の心」（仏教の用語）という美しい言葉がありますが、この心をもって外国人に対しても、又日本人に対しても接していただければ、日本全体もよくなり、真の意味の「国際国家日本」になれるのではないのでしょうか。日本の現状は、経済的な側面が急速に拡大、成長してきましたが、他方で、精神面の向上、発達がなごりにされてきたように見えます。世界第2位の経済大国日本は、文化、精神面でも世界に影響力を及ぼせるような国になれることを期待できると考えています。日本では外国語といえば、英語ということになりますが、他の外国語（イタリア語も含めて）ももっと勉強されては如何でしょうか。

私は、今後も日本文化の理解をさらに深めて、将来はイタリアで、日本学を大学で教えたいと希望しています。

（文責 深見）

実話ではありませんが

ロータリーの第4奉仕部門（国際奉仕）の路上でスピード違反でつかまったロータリアンの話を聞いたことがありますか？

違反者を引っ張りながら警官が言いました。

「いいかね。君に罰金を課す」

「それは無理だ」とロータリアンが答えました。「君は私のクラブの会員でない。そのうえ、私は、一つの奉仕プロジェクトから別の奉仕プロジェクトに駆け回らなきゃならない。これにはスピード違反を取り締まる法律はない」

「よろしい」。警官は不満そうに答えました。「しかし、君が事態を混乱させているの

を見たら……本当に検挙することになる。さあ、次の奉仕プロジェクトに急ぎたまえ。だが、スピード違反には注意することだ」

視力障害

地域社会に奉仕の機会がもう見受けられないという時が来たら、のんびりしていられます。それどころか、目の不自由な人を助けるプロジェクトを直ちに開始しなければならぬでしょう。私達の視力が衰えたからといって地域社会が苦勞するのは理屈にあいません。

なすべき任務

私達のクラブは、失業者の窮状を認識してきたでしょうか。地域社会の誰かが意義ある仕事を見つけにくいという状況を軽減することに、多分、私達は協力できるはずで、私達が自由に使いこなせる方法が沢山あります。専門的訓練、職業紹介を行うこともできるし、場合によっては、現実に職業に就かせる手配もできます。職業奉仕への献身を表明する方法で、他の人の求職に協力すること以上のものがあるのでしょうか。

ロータリーの名声の尺度は？

ドイツのノーベル賞受賞作家のトーマス・マン、ノルウェーの探検家のトル・ハイエルダール、オーストリアの作曲家のフランツ・レハール、米国の宇宙飛行士のゴードン・コーパー、日本の実業家の松下幸之助……この人達はすべて世界的名声を得たロータリアンです。国際的かつ歴史的成果を上げて、このロータリアン達や他の著名なロータリアンは、自分の声価を幾分なりともR.I.に分け与えてきました。しかし、ロータリーは単に有名人の団体ではありません。ロータリーは、奉仕の理想を名声の真の尺度と考える善意の人の集まりということの有名人の集まりによると、この人達はロータリーの最も有名な人物と言えましょう。

（情報抄録より）

◇例会変更のお知らせ

- | | |
|---------|------------------------------------|
| 名古屋瑞穂RC | 12/18(休)年末家族会の為、PM 6:00 より |
| | 12/25(休)夜間例会の為、神戸屋にてPM 6:00 より |
| 名古屋東南RC | 12/25(休)忘年家族会の為、PM 5:00 より |
| 名古屋大須RC | 12/25(休)家族忘年会の為、PM 6:00 より |
| 豊山一城北RC | 12/30(休)例会会場休館の為、受付はありません。 |
| 名古屋名東RC | 12/30(休)年末家族会の為、12/26(金)PM 6:00 より |

◇次回例会（12月13日）

12月9日を変更して年末会員・家族懇親会